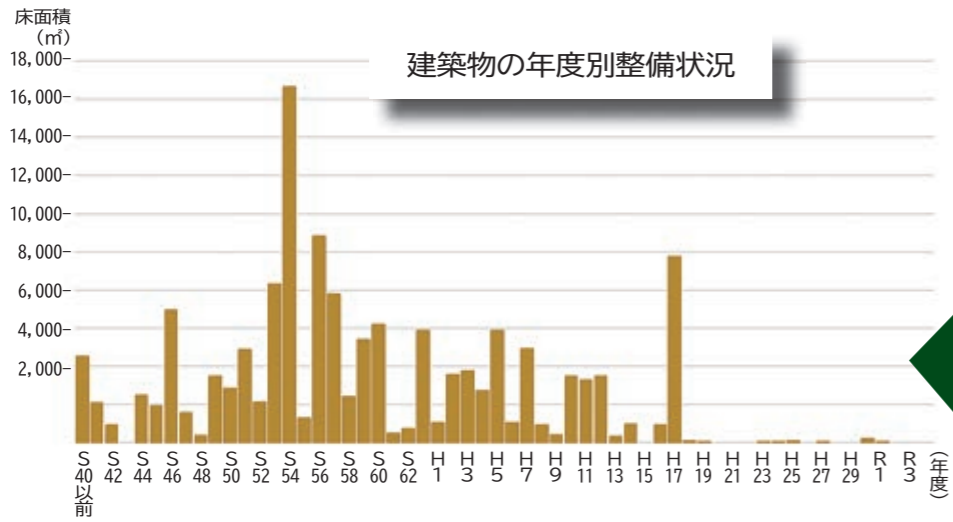
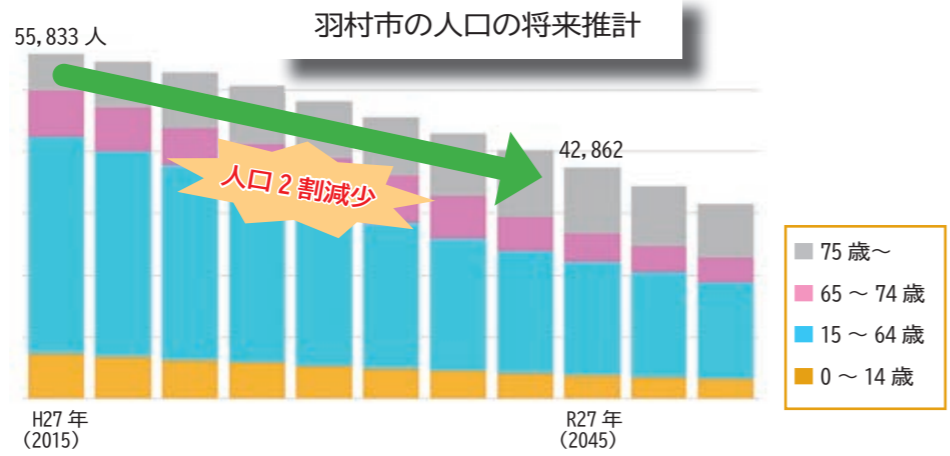


特に記載がない場合の問合せ・受付時間は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時です。申込みの記載がない場合は直接会場へ。費用の記載がない場合は無料です。

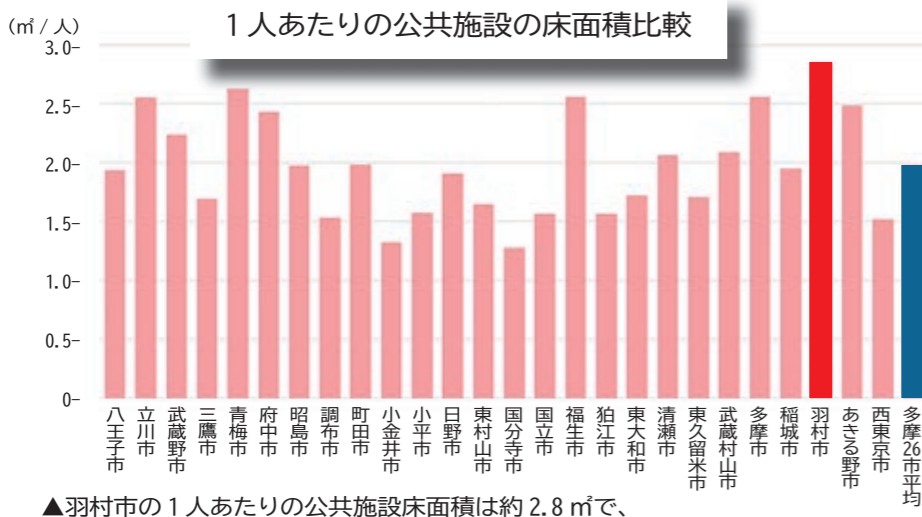


◀建築物を使い続けるためには、定期的な改修や更新が必要です。最近は、そのような工事の計画的な実施が困難な状況にあります。

老朽化した建築物の改修や更新時期が迫ってくる



羽村市の人口は平成27年には55,833人でしたが、令和27年には2割以上減の42,862人になると推計されています。▶
〔出典：第六次羽村市長期総合計画〕



▲羽村市の1人あたりの公共施設床面積は約2.8㎡で、26市では最大です。〔出典：総務省公共施設状況調査2022〕

▼動画で分かりやすく解説しています



問題解決に向けて
市では、将来にわたって必要な施設サービスをしつかりと提供していくために、この問題に積極的に取り組んでいきます。3月に羽村市公共施設等総合管理計画を改定しました。その中で、長期的な目標として「公共建築物の総量を30%抑制」

することなどを示しています。今後、具体的な公共施設の整理統合を取りまとめる公共施設再配置計画の作成に着手します。ご理解とご協力をお願いします。
※今年の7月頃に、市民を対象とした無作為抽出による公共施設に関するアンケート調査を行う予定です。
※この問題を分かりやすく解説した動画や羽村市公共施設等総合管理計画の詳しい内容を市公式サイトで公開しています。ぜひご覧ください。

市民のみなさん、施設の老朽化が深刻です！

～公共施設の現状と課題～ 今後の公共施設マネジメントの取り組み

問合せ 公共施設マネジメント課 ☎ 342



建設から年数が経ち、市内の公共施設の老朽化が目立ちます



繰り返す雨漏りがシミになった天井も…

深刻化する大量の公共建築物の老朽化
羽村市には公共施設がたくさんあります。東京都内の市の中で、人口当たりの公共施設の総量（延床面積）が一番多い市が羽村市です。図書館、体育館、学校、庁舎、地域集会施設など、皆さんが利用している施設です。きれいで充実した施設が自慢でした。
ところが、こうした身近な公共施設の老朽化が深刻で、近年不具合が頻発しています。毎年多くの施設で空調機器のトラブルがあります。雨漏りを抱えている公共施設も少なくありません。
市の施設のほとんどが昭和40年代から平成17年度までに整備されたものです。「プリモホールゆとろぎ」でさえ、もうすぐ建設後20年を迎えます。
施設を継続して利用していくためには、大規模な修繕や建替えなどを定期的に実施していかなくてはなりません。今後、そうしたタイミングが次々と到来します。

人口減少問題

さらに、今後ますます人口減少が進むことも大きな問題です。市の人口が大きく減少するとともに、公共施設（公共建築物）の維持にかけられる財源も減っていきます。
このまま公共施設の老朽化対策を先送りすることは、次世代の市民の負担を増大させることになってしまいます。

厳しい財政状況

しかし、税収の減少や財政構造の変化などにより市の財政状況は厳しく、一般的な修繕や大規模改修工事を行わなければならないタイミングが来ても、計画的な修繕や工事を行うことが困難な施設が多く見られる状況です。
施設管理を担当する職員も、限られた予算と人員の中で、安全安心に使っていただくために日々知恵を絞っています。



プリモホールゆとろぎも令和7年度に開館20年